

環境事業センター	所管 行政区	人口※1 （人）	世帯数※1 （世帯）	ご み 量（t）								
				普通ごみ	資源ごみ	容器包装 プラスチック	粗大ごみ※2	小物金属※3	不法投棄※4	その他※5	臨時ごみ	合計
北部環境事業センター	北区	113,505	67,651	31,475	1,951	1,340	1,032	—	329	30	96	36,253
	都島区	103,269	50,499									
東北環境事業センター	淀川区	172,183	91,945	51,014	3,158	2,564	1,615	—	526	38	180	59,095
	東淀川区	176,757	93,028									
城北環境事業センター	旭区	91,559	43,805	58,490	3,718	3,119	1,582	—	260	21	173	67,362
	城東区	165,278	76,535									
	鶴見区	111,543	45,770									
西北環境事業センター	福島区	69,203	35,641	41,075	2,462	1,908	890	3	610	38	116	47,103
	此花区	66,161	29,812									
	西淀川区	97,242	43,778									
中部環境事業センター	天王寺区	71,568	35,775	32,097	1,930	1,557	874	—	402	25	77	36,962
	東住吉区	129,667	60,253									
中部環境事業センター 出張所	中央区	81,661	51,460	15,055	959	537	471	—	701	34	290	18,047
	浪速区	63,634	43,375									
西部環境事業センター	西区	85,780	48,984	35,355	2,012	1,594	1,212	—	439	17	100	40,730
	港区	83,734	40,534									
	大正区	68,316	30,413									
東部環境事業センター	東成区	80,421	39,382	34,865	2,018	1,586	810	—	295	52	223	39,848
	生野区	131,996	62,999									
西南環境事業センター	住之江区	125,719	56,697	41,040	2,573	1,997	1,261	—	334	78	474	47,758
	住吉区	155,178	74,462									
南部環境事業センター	阿倍野区	106,867	49,889	34,575	1,867	1,455	947	—	2,275	41	105	41,265
	西成区	120,569	74,045									
東南環境事業センター	平野区	198,891	87,132	32,703	1,876	1,813	1,294	—	451	29	183	38,348
合計		2,670,701	1,333,864	407,742	24,524	19,471	11,989	3	6,621	404	2,017	472,771

* 端数処理の関係で数値が合わない場合がある。

※1 人口、世帯数は平成24年4月1日現在の推計。

※2 北部・城北環境事業センターの粗大ごみ収集は平成23年10月から民間委託を行っており、直営と委託の合計量を記載している。内訳は、北部（直営：501t、委託：531t）、城北（直営：786t、委託：796t）。

※3 小物金属類は平成23年10月から西北環境事業センター管内で分別収集を試行実施している。

※4 不法投棄には市民協力を含んでいる。

※5 その他には街頭ごみ容器ごみ、散乱ごみの収集量を記載している。

2. 収集輸送業務に従事する技能職員について

収集輸送業務に従事する技能職員数について（平成24年4月1日現在）

	技能統括主任 ※1	部門監理主任 ※2	普通ごみ	資源ごみ	容器包装プラスチック	粗大ごみ	環境	普及啓発	整備	その他 (ふれあい・中継地等)	計	女性 (内数)	行政職員 (外数)
北部環境事業センター	4	8	55	17	17	3	14	4	3	7	132	10	16
東北環境事業センター	4	9	89	20	27	19	18	4	3	20	213	12	12
城北環境事業センター	5	10	108	26	32	3	14	6	3	26	233	11	12
西北環境事業センター	5	9	74	18	25	14	14	6	3	22	190	10	12
中部環境事業センター	4	9	63	13	23	14	19	4	3	8	160	11	12
中部環境事業センター出張所	4	7	34	9	15	12	16	4	2	12	115	10	10
西部環境事業センター	5	9	66	12	24	14	14	6	3	14	167	12	11
東部環境事業センター	4	8	68	21	23	13	14	4	3	9	167	10	12
西南環境事業センター	4	10	77	20	24	16	18	4	3	9	185	11	12
南部環境事業センター	4	9	72	19	28	15	21	4	36	27	235	11	16
東南環境事業センター	3	6	59	13	19	16	14	2	3	24	159	10	12
計	46	94	765	188	257	139	176	48	65	178	1,956	118	137

※1 技能統括主任：総括的な業務又は広範囲にわたる困難な業務を担当する主任

※2 部門監理主任：部門ごとの作業の執行を管理する業務又は技能統括主任の業務を補佐する業務を担当する主任

収集輸送業務に従事する技能職員の平均年収・年齢について（各年4月1日現在）

年度(平成)	22	23	推計					
			24	25	26	27	28	29
人数(人)	2,113	2,010	1,956	1,924	1,897	1,865	1,839	1,801
平均年収(万円)	644.2	648.6	642.0	634.6	631.3	645.1	630.8	628.7
平均年齢(歳)	43.8	44.6	45.4	46.2	47.1	47.9	48.7	49.5

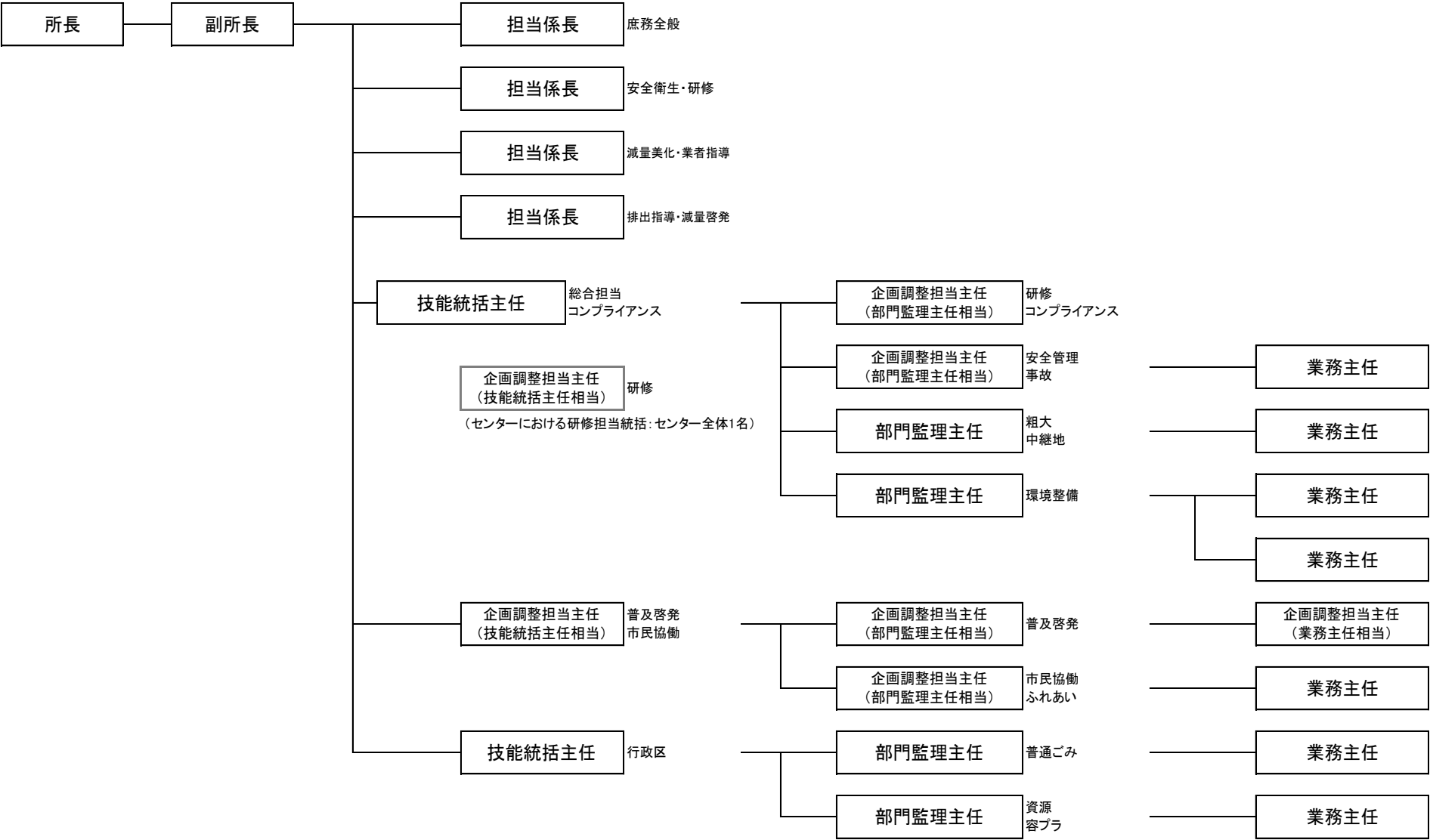
収集輸送業務に従事する技能職員の年齢構成（平成24年4月1日現在）

年齢(歳)	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～60	計
人数(人)	5	82	264	522	567	372	144	1,956

収集輸送業務に従事する技能職員の勤続年数構成（平成24年4月1日現在）

勤続年数(年)	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～	計
人数(人)	113	403	571	481	299	82	7	1,956

管理体制について 環境事業センター組織機構図（平成24年4月1日現在）



3. 機材について（平成24年4月1日現在）

用途	使用機材	積載量 (t)	台数 (台)	作業時 乗車人数 (人)	1日当たり 平均 作業回数 (回)	平均 実積載量 (t) ※1	1台当たり年間 平均 走行距離 (km) ※1	1台当たり年間 平均 燃料消費量 (L) ※1	燃料種別
普通ごみ	中型パッカー車 ※3	2.4	15	2	5	1.61	13,754	4,723	軽油
	小型プレスダンプ車 ※3	2.0	198	3	6	1.21	16,903	4,382	軽油
	軽四輪車(ダンプ車) ※3	0.35	118	1	6	0.25	13,382	1,628	ガソリン
資源ごみ	小型パッカー車 ※3	2.0	54	3	5	0.36	13,563	3,159	軽油
	軽四輪車(ダンプ車)	0.35	30	1	5	0.08	12,158	1,572	ガソリン
資源ごみ中継地	ショベルローダー	－	7	1	－	－	－	4,770	軽油
容器包装 プラスチック	小型パッカー車	2.0	57	3	5	0.28	15,373	3,666	軽油
	軽四輪車(ダンプ車)	0.35	58	1	5	0.05	13,719	1,631	ガソリン
容プラ中継地	ショベルローダー	－	12	1	－	－	－	3,508	軽油
粗大ごみ	小型プレスダンプ車	2.0	12	3	4	0.39	19,551	4,065	軽油
	小型四輪車(ダンプ車) ※3	2.0	21	3	3	0.17	10,250	2,043	軽油
	軽四輪車(ダンプ車)	0.35	24	1	2	0.10	9,766	1,117	ガソリン
粗大ごみ 中継地	大型トラック	6.0	7	1	2	0.95	10,727	2,467	軽油
	ショベルローダー	－	3	1	－	－	－	3,041	軽油
環境整備	小型プレスダンプ車	2.0	18	3	4	0.37	13,172	2,777	軽油
	小型四輪車(ダンプ車)	2.0	13	3	4	0.17	9,445	1,705	軽油
	軽四輪車(不法投棄)	0.35	13	1	3	0.07	8,229	963	ガソリン
	軽四輪車(ダンプ車)(BRP隊)	0.35	22	2					ガソリン
	軽四輪車(ダンプ車)(美化機動隊)	0.35	11	2					ガソリン
胞衣汚物	小型貨物車	0.7	8	1	－	10.1件／日 ※2	8,603	1,365	ガソリン
	軽四輪車	0.35	6	1	－				ガソリン
ふれあい	軽四輪車(ダンプ車)	0.35	41	1	－	0.19	7,704	938	ガソリン
台数合計			748						

※1 平均実積載量、1台当たり年間平均走行距離、1台当たり年間平均燃料消費量は、平成23年度実績。環境整備軽四輪車(犬・猫)と胞衣汚物を除く平均実積載量はごみ量集計システムから算出した。

※2 胞衣汚物の収集実績は、木津川事務所での平成23年度収集実績(使用機材は小型貨物車8台)。(同業務は平成24年4月から各環境事業センターに移管している。)

なお、環境事業センターが行っている道路上等に遺棄されていた犬・猫等の平均積載量(平成23年度実績)は3.1件／日である。

※3 直近の購入単価：中型パッカー車 8,360千円、小型プレスダンプ車(ハイブリッド) 10,209千円、軽四輪車(ダンプ車) 1,927千円、小型四輪車(ハイブリッド) 7,403千円、
小型パッカー車(ハイブリッド) 9,765千円

4. 環境事業センターの概要について（平成24年4月1日現在）

事業所名	開設 (建設工期)	所在地 (敷地面積※1)	本館棟構造 (延床面積※2)	土地価格※3 (円)	建物価格※4 (円)
北部環境事業センター	S61.4 (S60.3～S61.7)	北区同心2－8－14 (6,041㎡)	鉄筋コンクリート造4階建(一部5階) (4,579㎡)	1,594,879,440	444,074,764
東北環境事業センター	S60.4 (S59.3～S60.3)	東淀川区上新庄1－2－20 (8,809㎡)	上記に同じ (5,903㎡)	2,369,849,650	560,333,267
城北環境事業センター	S62.4 (S61.3～S62.3)	鶴見区焼野2－11－1 (約7,700㎡)	上記に同じ (6,086㎡)	1,783,782,000	560,427,630
西北環境事業センター	H2.4 (S63.10～H2.3)	西淀川区大和田2－5－66 (約8,300㎡)	鉄筋コンクリート造3階建 搭屋付 (4,355㎡)	1,054,091,700	494,809,961
中部環境事業センター	H5.8 (H3.10～H5.5)	東住吉区杭全1－6－28 (5,497㎡)	本館棟・車庫棟複合建物 鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄筋コンクリート造)5階建(一部6階) (7,986㎡)	2,996,109,390	1,243,189,192
中部環境事業センター 出張所	H9.10 (H6.10～H9.8)	浪速区塩草2－1－1 (2,750㎡)	本館棟・車庫棟複合建物(併設市営住宅) 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上13階塔屋2階建 (7,110㎡)	203,560,680	2,199,384,403
西部環境事業センター	H8.12 (H7.10～H8.11)	大正区小林西1－20－29 (7,588㎡)	鉄筋コンクリート造3階建(一部4階) (5,015㎡)	1,092,780,000	746,952,424
東部環境事業センター	S58.12 (S57.12～S58.11)	生野区巽中1－1－4 (5,106㎡)	鉄筋コンクリート造4階建(一部5階) (6,029㎡)	1,613,676,120	657,504,977
西南環境事業センター	H8.2 (H6.10～H9.3)	住之江区泉1－1－111 (15,521㎡)	鉄筋コンクリート造3階建 (5,662㎡)	3,404,396,630	828,032,007
南部環境事業センター	H9.4 (S56.12～S57.11) 改修工事H8.8～H9.3	西成区南津守5－5－26 (15,553㎡)	鉄筋コンクリート造4階建(一部5階) (10,397㎡、併設整備工場を含む)	1,506,487,300	841,361,779
東南環境事業センター	H1.4 (S62.3～H1.3)	平野区瓜破南1－3－40 (約10,400㎡)	上記に同じ (4,745㎡)	1,579,687,200	494,961,560
合計価格				19,199,300,110	9,071,031,964

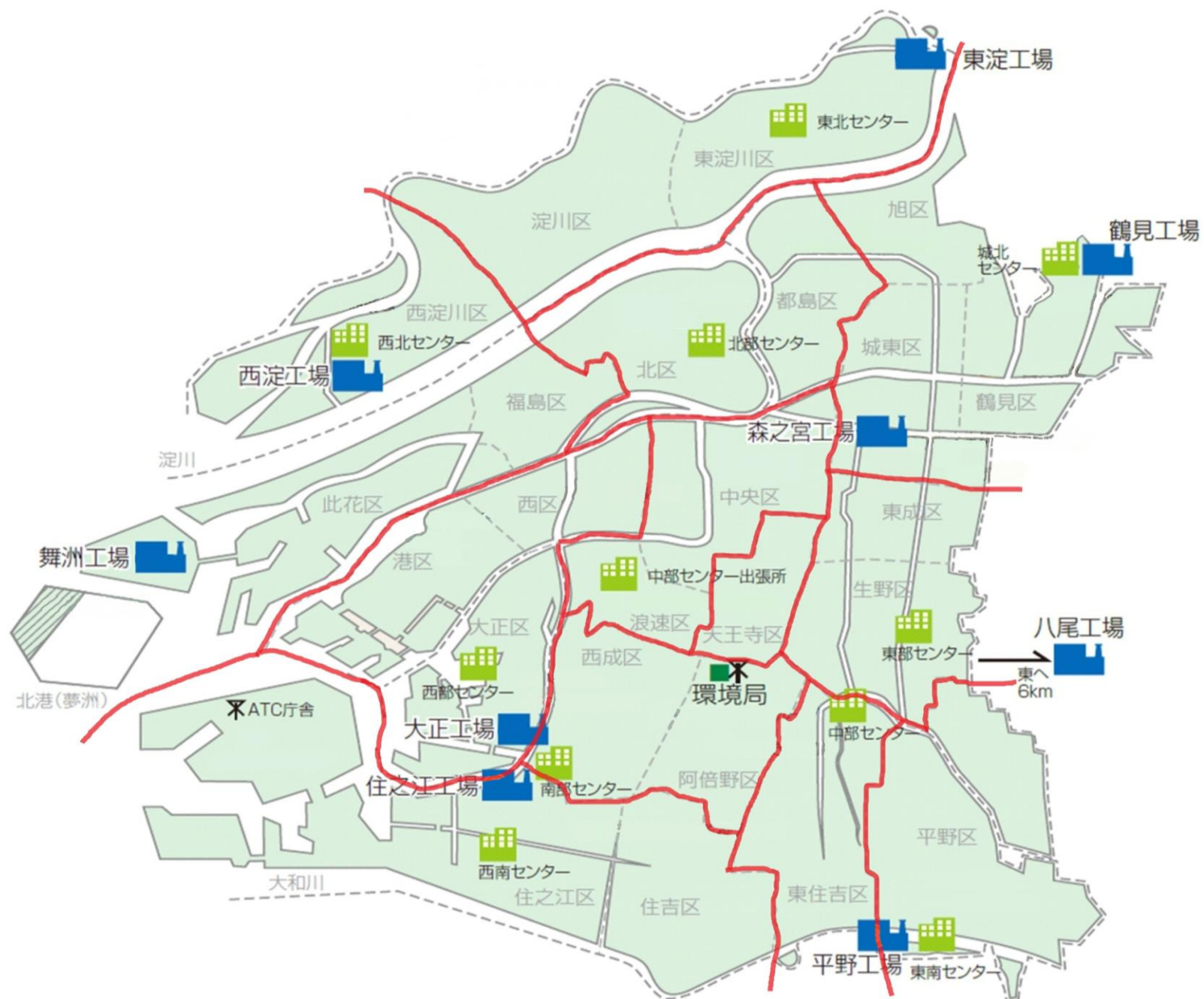
※1 敷地面積は土地台帳の地積(実測)を使用する。ただし、城北、西北、東南センターについては、土地台帳上、併設工場に含まれるため概算している。

※2 延床面積は付帯施設(車庫棟、洗車場、排水処理施設等)を含む。

※3 土地価格は土地台帳価格を使用する。ただし、城北、西北、東南センターについては、概算面積に併設工場の平均単価を掛けて算出している。

※4 建物価格は建物台帳価格を使用する。

施設配置図



5. ごみ収集輸送部門別コストについて(※1)

(単位:百万円)

	普通ごみ	資源ごみ	容器包装プラ	粗大ごみ	環境ごみ	中継地(資源・容プラ)	その他	合計
人件費	8,059	1,877	2,672	1,912	1,921	379	2,130	18,950
給与	7,674	1,787	2,544	1,821	1,829	361	2,028	18,044
退職手当	385	90	128	91	92	18	102	906
物件費(※2)	455	99	141	332	109	939	131	2,206
減価償却費	374	106	112	90	67	39	43	831
環境事業センター等	144	34	48	34	34	32	39	365
車両等(※3)	230	72	64	56	33	7	4	466
管理部門	207	48	68	58	49	46	55	531
人件費	189	44	63	45	45	9	50	445
物件費	18	4	5	13	4	37	5	86
その他	△ 3	△ 2	3	1	3	△ 52	3	△ 47
公債利子	11	3	4	3	3	5	3	32
補助金等	△ 14	△ 5	△ 1	△ 2	0	△ 57	0	△ 79
合計	9,092	2,128	2,996	2,393	2,149	1,351	2,362	22,471

※1 平成22年度ごみ処理原価をもとに算出している。

※2 物件費(2,206百万円)には、車両燃料費(236)、車両整備費(120)、センター光熱水費(293)、センター通信費・保守管理費等(98)
センター計画整備(105)、粗大ごみ受付委託等(166)、資源ごみ選別委託等(434)、容プラ異物除去業務委託等(470) 等を含む。

※3 減価償却に係る車両等の耐用年数については、当局の代替年数(8～10年)を用いている。